

# 夏秋スプレーギク8月出し栽培における簡易シェード設備を用いた開花安定技術

13時間日長制御の簡易シェード栽培は、シェード栽培と同等の到花日数に短縮でき、需要期に合わせた出荷が可能  
簡易シェード栽培は、市販の安価な寒冷紗を活用でき、取り組みやすい

## 背景・目的

- 夏秋スプレーギクの施設栽培では、夏期の高温で盆出し特需期の開花遅延が大きな問題として顕著化
- シェード施設での日長制御栽培は有効だが、設備投資が高価なため、利用は一部の生産者に限定
- 安価な遮光資材を用いた簡易シェード設備で、日長制御による開花安定技術を開発

## 成果の内容

- 簡易シェード栽培は慣行栽培に比べ、到花日数が短縮する(図1)
- 日長制御時間は、11時間より13時間の方が、切り花重が重い(図2)
- 13時間日長簡易シェード栽培は、シェード栽培と到花日数や切り花品質が同等で、シェード栽培の代替技術として有効(図3)

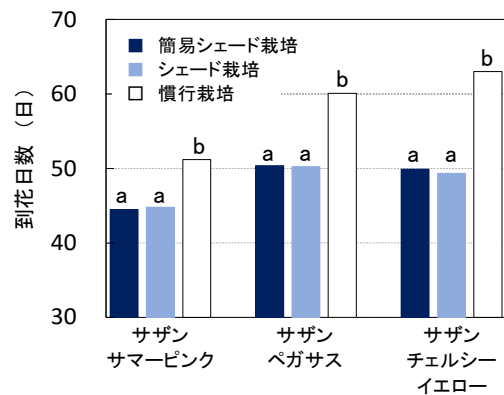


図1 到花日数の比較

<4年度データ>

注) 異なる英文字は、TukeyのHSD検定により有意差あり(5%)

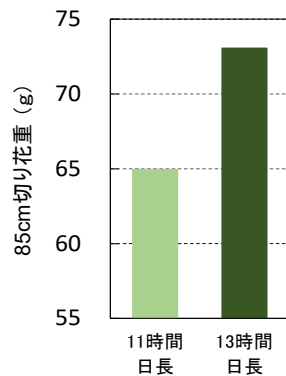


図2 簡易シェード栽培での切り花重の比較

<供試9品種の平均値>



簡易シェード栽培(左)は、慣行栽培(右)より花数が多い

図3 開花の比較 <4年度> (8月上旬出し)

注1) 品種: サザンサマーピンク  
2) 左から、簡易シェード栽培、シェード栽培、慣行栽培

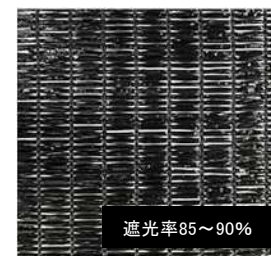
- ◆ 耕種概要 令和3年度: 定植5/14, 摘心5/24, 消灯6/17  
令和4年度: 定植5/13, 摘心5/23, 消灯6/17
- ◆ 制御期間 3, 4年度ともに消灯後5週間(6/17~7/22)
- ◆ 被覆時間 シェード栽培は、3, 4年度とも18:30~5:30(13時間日長)  
簡易シェード栽培(約90%遮光)は、3年度17:30~6:30(11時間日長), 4年度18:30~5:30(13時間日長)

## 期待される効果

- ① 簡易シェード栽培は、開花が慣行栽培より早く、シェード栽培と同等  
▶▶ 計画生産・出荷ができ、経営が安定
- ② 簡易シェード用の遮光資材は、シェード施設の100%遮光資材より安価で、ハウスの内張りや屋根かけに設置が容易  
▶▶ 産地での導入促進、生産性向上  
市場等への有利販売が促進



中二重設備に遮光資材を設置



遮光資材の一例

## ○普及対象・範囲

県内全域の施設スプレーギク生産者

鹿児島県農業開発総合センター  
果樹・花き部花き研究室

(R04)